

## 6月例会



6月例会は、会員資質向上委員会が主体となって設営をさせて頂きました。この例会を行ううえで、「地域経済の担い手である我々は、指示を出し、仲間や社員に動いて頂き、組織を想う方向にひっぱっていく立場にある」と考え、その立場で求められる資質の一つコミュニケーション能力を高めていくことを目的とし、事業作りを半年前より準備してまいりました。そこで、本例会では、テーマ『人のこころを動かす想いの伝え方』と題し、国際ビジネスコミュニケーションを研究されている同志社大学名誉教授の亀田尚己先生をお招きし、ご講演を頂きました。



講演前には、参加者にコミュニケーションの難しさを再確認して頂くため、アイスブレイクもかねて、当委員会の岡田健吾君が用意した伝言ゲームを実施致しました。「その伝言ゲームでつまづいた点は何なのか？」を、講演を拝聴する上でのポイントとして頂き、講師の講演に移りました。講師のお話は

トップセールスとして60カ国を超える豊富な海外相手とのビジネス体験をもとに、各場面において、どのような意思疎通の方法が最も効果的かを細やかにといて頂いたことで、例会参加者にとつても日頃の自身のコミュニケーションを見つめなおす、良い機会になったと感じています。

6月例会を開催するにあたり、会員資質向上委員会メンバーをはじめ、ご参加くださった会員の皆さま、講師として熱く語ってくださった亀田尚己先生、オブザーバーとして参加してくださった新入会員候補生の皆さま、本当にありがとうございました。感謝の気持ちで一杯です。

最後になります。7月となり、一年の半分を過ぎたところではあります。当委員会では、会員の資質が向上できる事業をこれからも推進して参ります。今後とも、現役メンバーの皆さま、OB諸先輩方の皆さま、最後の最後まで、ご支援ご協力のほど、何卒よろしくお願い致します。

(記事・会員資質向上委員会 委員 井上智仁)



## 三体廻し

昨日6月24日に三体廻しが雨の中行われました。全委員長・副委員長は担ぎ手、そして当委員会は、尾道大学生を始めとする有志、消防団と共に警備での参加で、雨の寒さで濡れた身体から白い湯気が出ていました。

目の前を駆け抜けていく三体の神輿はすごい力で、警備で私の隣にいた大西副委員長が、終始神輿を担いだそうに見ていたのが印象的でした。打ち上げでは、安楽城副理事長が「これからの事業全成功まちがいなし」と言っていました。これから暑くなり、尾道のまちは祭りの季節真っ盛りとなります。

次は7月の14日・16日に御袖天満宮の大祭がありますので、皆さんも担ぎ手として参加してみたいかがでしょうか。

(記事・地域特性を活かしたまちづくり委員会 岡本正也)



60周年記念  
特別インタビュー



第58代理事長  
安部 昭一郎 先輩

——JC活動に向かい合われたご自身の経験を、先輩の教えとして現役メンバーに伝えて頂きたいと存じます。

入会してすぐの頃や若いうちは、ついつい結果や答えを早く出したいと焦りがちになります。事業のことがどうだ、あそこがダメだ、などとやめたことのないのに言っても、まずはやってみないとわかりません。今は言われなくても、昔は「3年間は黙って参加しなさい」と言われてきました。その言葉も、正しかったと思います。とにかく事業に出て、「どんなことをやっているのか」というのを知って欲しいと思います。

私は3年目に理事にさせて頂きましたが、当時としてはかなり早かったそうです。その委員長になったときに、とある先輩から言われたのが、「御輿を担いだことの無い奴が御輿の上に乗るんだから、人一倍頑張れ！」と。当時、5年以上フォロワーとして頑張った人が理事になれるのが、普通でした。今まで委員長を支えてきた人が自立して、初めて周りから支えてもらえる側になるという考え方です。最近のように若いうちに理事になるというのは大変なことだと思います。貸しが少なく、それでも借りは返さないといけないので。

とりあえずは、JCにどっぷり浸かって、いろいろな事業にもしっかり出て二通り見てからJCを語って貰えれば良いと思います。

私は、入会した当初はパソコンの使い方も分からない、人前で話すのも苦手といった具合でしたが、委員会の中で無茶振りを受け、それに応えようと我武者羅に頑張れば頑張るほど、知らない間にスキルが上がっていくのを実感しました。単年度制という短い任期の中、集中してその役割を演じていくうちに急激な成長を与えてくれる。いつの間にか出来るようになる。10年在籍すれば10回その機会がある。最低10年はいってほしい。知らないうちにスキルアップさせてくれる。スキルアップのためだけではなく、友達のため、まちのためにやらざるを得ない状況で我武者羅にやっているといつの間にか自分が成長して、卒業するときには、入会時の想像の何倍ものスキルを身につけて貰えます。

——60周年を迎え、これからの尾道青年会議所に期待すること

「修練」という言葉があるのはJCだけで、他団体にはありません。何かしらの奉仕を通じ自分のスキルアップができるのはJCだけで、しかも目的が凄いなと思います。「世界の平和と繁栄に寄与する」と。こんな組織は他にありません。他団体と違い、「世界の平和の為にやっている」という意識だけは忘れないで欲しいと思います。そのため日本はどうかあるべきかということを見つめながら、じゃあ尾道ではどうしていくのか、というところを事業に変えていく、ということが大事だと考えます。ただただ尾道のことばかり考えるのではなく、世界の平和のために、日本のために、広島県のためにようなことを考えながら、尾道で何が出来るのか、といった段階を踏んで欲しいと思います。ミタロ(尾道)とマクロ(世界平和)の両輪の軸がないといけません。目の前のことばかり見ても何も分らないし、世界のことばかり見ても何もできませんから。

JCとは、いつまでも続く組織ではなくて、ゴールがあるものだと思います。そのゴールに近づけるような事業をしていくことが必要です。事業がルーティン化してただこなすだけになった

らいけません。「去年やったから今年もやらなければならぬ」ではなく、尾道のため、世界のためになる事業を展開し、「明るい豊かな社会」に近づける必要があります。

いつかは尾道が栄え、世界が平和になるゴールを見据え、頑張りたいと思います。

——最後に、現役メンバーに言

しっかりと目的を見据え、大きいところでは世界平和、じゃあ尾道ではどうしたら良いのかという考え方の筋を守っていけばいいと思います。その方向性は理事長が理事長所信として考えてくれているので、方向性に迷ったらずます理事長所信を読み込んでください。特に新理事の方は穴が開くほど読み込んでください。

また、日本青年会議所は、変わったメンバーももちろんいますが、優秀なメンバーも山ほどいます。そんな人たちが一番力を入れている、時代が求めている最先端の日本青年会議所の事業は何か？と言われればサマコンだと思います。サマコンに出て、色々なセミナーを受けてもらって、講師の話をしっかり聞いて「今、日本はこうなんだ。世界はこうなんだ。」という部分をしっかりと見て欲しいです。メンバーであるなら誰でもサマコンに行けます。ついつい面倒臭がつて誰も行かずに事務局旅行になってしまうかも知れませんが、これから理事になりたい人は行くべきです。もちろん、外れもあります(笑)、そこに色々なヒントが転がっています。これからの時代に求められているモノがセミナーにはあるので、受講して尾道に持ち帰って自分ならどういった事業をやっているのか、と考えてみてください。時代が求めている最先端の経験をして欲しいと思います。



ヒントが転がっています。これからの時代に求められているモノがセミナーにはあるので、受講して尾道に持ち帰って自分ならどういった事業をやっているのか、と考えてみてください。時代が求めている最先端の経験をして欲しいと思います。



みんな「小林和作画伯」になろう展



田んぼでがんばー 秋の大収穫祭



尾道みなと祭り (ストリートミニコンピック/さくらコレクション2014)

主な事業

平成26年 入会者(9名)	歌 一行	大本 誠	川口 晴康
	川原 奨二	高橋 洋樹	高升 純
	長坂 侑	日暮 泰広	山本 治永
平成26年 卒業生(11名) 敬称略	川辺 貴久	小林 輝久	高橋 司
	高橋 大介	檀上 貴晴	永井 大貴
	中浜 聖登	幡中 幹生	濱本 純郎
	細木 豪	山根 浩揮	



8月5日・6日の2日間、御調町のふれあいの里にて「おのみち種心塾2017 in ふれあいの里」A TENDER HEART 子ども向け教育事業を実施します。日常生活のほとんどを当たり前と感じられる今を、グループワークや子どもたち自身で食事の準備をするなどの体験で、「有り難い」尊い生活であると気付きを得る機会にします。ぜひご参加下さい。

(記事：地域の希望育成委員会 委員長 川原 奨二)



## 募集要項



-  **募集人数** 40人(小学生対象)
-  **募集締切** 7月21日(金)
-  **参加費用** 5,000円
-  **事前説明会** 7月27日(木)19:00～  
尾道市市民会館(旧・公会堂別館)

お問合せは尾道青年会議所 事務局まで。  
Tel 0848-20-1110 Mail ojc@urban.ne.jp



7月3日(月)、合同委員会にて地域特性を活かしたまちづくり委員会の設営による、防災マニュアル(案)の説明会が行われました。

尾道のまちが被災した時、我々青年経済人がどのように動くかを同委員会の岡本委員がパワーポイントを用い説明しました。防災組織の構成や、行政や他団体との関わりなど分かりやすい説明で我々の防災意識向上につなげてくれました。

防災マニュアルの完成はまだ先の話とありますが、今から待ち遠しいですね。

(記事：政成 啓行)

## ありがとうを伝えよう

2015年度 青少年育成事業として実施させて頂いた、「ありがとう」を伝えよう!」を、高須小学校からのご依頼のもと7月1日(土)に行つて参りました。

この事業は小学校で我々メンバーが教壇に立ち出前授業を行うというものです。この度は、5年生4クラス150名を対象に参観日での開催でした。そして、高須小学校にゆかりのある工藤孝之委員長と加藤雄大委員にも教壇に立つて頂き先生役をして頂きました。

この事業を通じ、児童や保護者の方々のみならず、我々メンバーも感謝の気持ち伝えることの重要さを改めて感じる日となったと思います。

ご協力くださいました、高須小学校の関係者の皆さん、2015年 地域教育実践委員会のメンバーの皆さん、工藤委員長、加藤委員、本当にありがとうございます。

(記事：拡大研修委員会 島田 元太)



私と丸善製菓との出会いは小学校まで遡ります。何の知識も先入観もないままに父に連れられて本社に足を踏み入れ工場を見学させてもらい、フォークリフトに乗せてもらいました。

あたりを包む独特の香りと、父の部屋に置かれていた机の中から父が取り出したカンゾウの根。かじらせてもらったときのほろ苦くて甘い味。

今も忘れ得ぬこうした出会いこそが人生の醍醐味なのだ、年を経るにつれ強く感じるようになりました。

青年会議所でも多くの出会いの機会を頂戴しております。一期一会と忘己利他の精神でこれからも精進してまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻の程、何とぞよろしくお願い申し上げます。

(記事：日暮 泰広)





**地域の希望育成委員会**

地域の希望育成委員会の鍋島です。川原委員長率いる我が委員会では、これまでに、地域コミュニティーの課題と解決方法を模索した2月例会、並びに、「家族と時を刻む思い出の1ページ作り」と題した家族会を開催してまいりました。現在は、当委員会のテーマ「種まき」に沿ったメイン事業に向けて日々活発な議論と準備を行っております。当該事業においても皆様のご協力が必要不可欠と思っておりますので、ご支援のほど何卒よろしくお願い致します。

鍋島 巧



**会員資質向上委員会**

会員資質向上委員会の井上です。当委員会では、森川委員長の掲げるテーマ「想い」のもと、青年経済人である我々の資質向上を目指し日々活動しております。先日の6月例会事業では、その資質を「人のこころを動かす想いの伝え方」と考え、会社や地域で活かせる資質を学ぶ機会を提供させて頂きました。今後も資質向上の為の事業が控えておりますので、何卒宜しくお願い致します。

井上 智仁



**総務広報委員会**

我々総務広報委員会では、例会セレモニーや総会の設営など、総務渉外に関わる事と、尾道青年会議所の活動を対外に伝える広報活動を行っています。

8月総会や9月の担当例会、卒業例会とホームページのリニューアルといった事業がこれから目白押しですが、皆さんの協力なしではどれも成り立ちません。引き続きの皆さんのご協力を宜しくお願い致します。

油藤 正博



**理事セクレタリー**

2017年度、理事セクレタリーの原田と申します。

去年の8月よりセクレタリーとしての活動をして、約1年が経ちます。正直、事をこなすだけで大半の日時が過ぎてしまいました。

初めは、やる事が沢山でミスを重ね、多くの方にご迷惑をお掛けしたと思います。

しかし、あと半年は、前半に起こしたミスを活かして、より一層、会の為に誠心誠意行動し、また理事としての職責を全うしていきます。

皆様、宜しくお願い致します。

原田 知晴

生年月日は6月6日です。  
名前は、莉夢歩(りむあ)と付けました。  
美ノ上家に続いて三姉妹になりました。  
今後ともよろしくお願い致します。  
(記事：濱野光展)



Congratulations!!

Congratulations!!!



6月7日に第3子となる次男が生まれました。  
ギリギリまで悩みましたが、  
名前は「奏多(そうた)」にしました。  
健康に育ってくれば良いと思っております。  
宜しくお願い致します。  
(記事：高橋建)